

乙葉リーフレット - キラキラした日々を -

本日、前期前半の最終日です。1年間の4分の1が終了したことになります。皆さんはこの間、充実した学校生活を送ってきました。修学旅行や赤城宿泊体験学習などの学校行事はもとより、日々の学校生活を通じて、それぞれの学年の成長した姿をみることができています。また、部活動などの活躍も目覚ましく、まさに文武両道の富士見です。

ここでは、2年前の夏、夏休みが始まってまもなくの山形県米沢市で起こってしまった悲しい事故について、まずはお話しします。当時中学1年生の女子生徒が、夏休みの剣道部の練習を終え、自転車で帰宅途中に倒れてしまいました。通行人が119番通報をしましたが、熱中症から多臓器不全などを引き起こし、搬送先の病院で息を引き取ってしまったのです。それからおよそ2年後の今年6月15日（亡くなってしまった生徒さんの誕生日）生徒さんのご両親は、氏名（島扇乙葉さん）を公表するとともに、我が子の名を冠した「乙葉リーフレット」を市内小中学校の子供達に配付しました。

「乙葉リーフレット」の内容は「熱中症予防のためにできること」についてです。水分補給などの具体的な予防法だけでなく、日々の生活習慣や体調管理についても触れた内容です。それでは、このような内容の「乙葉リーフレット」に込めたご両親の思いはどのようなものなのでしょうか。それは「熱中症で命を落とす子供をなくしたい」という思いだということです。リーフレットにはご両親のこんな言葉が寄せられています。「息を引き取る直前に流した涙。悔し涙だったのか、ごめんなさいの涙だったのか。同じ事が起こらないように - 乙葉と私たちの願いです。」乙葉さんは3姉妹の長女だそうです。優しい性格で、妹の面倒見も良く、中学校入学後は学級委員も務め、剣道部の先輩達に追いつこうと練習に励む頑張り屋さんでもありました。町の自然を守りたいと考え、将来は環境保全のお仕事に就きたいという夢もあったそうです。本人の無念やいかにばかりかと思えます。そして、ご両親の無念も想像に難くありません。リーフレットのイラストは乙葉さんのお母さんが娘を思い、描いたものです。どんな思いで描いていたのか、考えるだけで涙が出てきそうになります。

この「乙葉リーフレット」を通じて、皆さんに考えて欲しいことは、次の2つです。1つ目は「熱中症の予防」です。もう中学生です。周りの人から言われることを聞いているだけでなく、自分自身で自分自身の身体を守れるようにして下さい。2つ目は、「今このときを全力で生きること」です。これは、4月の人権集会での私の講話「ぬちどうたから」（命こそ宝）でもお話したことです。乙葉さんのご両親は「夢と希望でいっぱい乙葉は、キラキラしていて、私たちも幸せだった。」と思い出を語っていらっしゃいました。生きてくても生きられなかった乙葉さんがいる一方で、皆さんは生きています。だったら、夢や希望を胸に、「キラキラ」した日々を送って欲しいと願っています。これから始まる夏休みもそうです。部活動や自分の好きなことは言うまでもなく、進路決定に向けた勉強も、自分自身の夢や希望を叶えるためのものです。しっかり進めて欲しいと思います。

ここで、「今このときを全力で生きること」の一例、キラキラとした日々を送る「特設、音楽部」の皆さんを紹介します。本来は音楽部ではなく他の部活動に所属している5名の3年生男子生徒が加わった「特設音楽部」は今、NHK 全国学校音楽コンクールの埼玉県予選会（8月5日）に向けて練習に励んでいます。本日は、コンクールで披露する課題曲「空」を、このステージで歌ってもらいます。本番も頑張ってきて下さいね。